

長期使用石油ふろがまと石油給湯機から発火

事故の概要

【事例①】ふろ場から出火して、住宅を全焼した。

【事例②】使用中の石油給湯機から出火し、周辺が焼けた。

事故の原因

【事例①】長期間の使用により、石油ふろがまの煙突接続部分が劣化して壊れていたため、火の粉が周囲に飛び散って屋根等に着火して火災に至ったものです。

【事例②】石油給湯機の部品のOリング(パッキン)が長期間の使用により劣化し、器具内に漏れた灯油に引火して機器内部が焼けたものです(社告・リコール品)。



石油給湯機のOリングが劣化し、器具内に漏れた灯油に引火した事故を再現実験



事故防止のために

◆石油給湯機と石油ふろがまは、「長期使用製品安全点検制度」の対象製品です。購入時に、所有者登録をしてください。また、制度が始まった平成21年4月1日以前に製造・輸入された製品も製造時期を確認して、メーカーの点検を受けてください。

◆石油給湯機に着火不良や油漏れなどの症状がみられたら、使用を中止してメーカーによる点検を行ってください。

◆社告・リコール中の石油給湯機から事故が発生しています。該当製品かどうかを確認してください。

